

教育事業別報告書

事業名	第2回なすかしの森ファミリーミーティング
趣旨	幼少期から中学生期までの体験が多い高校生ほど、思いやり、やる気、人間関係能力等の資質・能力が高いことや、体験が豊富な子供ほど読む本の冊数が多いという割合が高いこと等が、調査研究において明らかになっている。このような調査研究を踏まえ、当施設では、幼児・小学生・中学生を含む家族を対象に、体験活動を通して親子の絆を深める機会を提供する。
期間	平成30年9月1日(土)～9月2日(日)
募集人員 (募集結果)	幼児又は小・中学生の子供を含む家族 20家族65名程度 (44名参加 大人・・・21名 子供・・・23名)

① 事業の特色

全4回シリーズの第2回目は、秋の活動(農業・収穫体験)をメインとして実施した。地元の地域資源を活かした活動として、西郷村観光協会に属する団体「にしごう体験隊」と連携し、特産物であるじゃがいも堀りを企画した。事業当日は、悪天候により農業体験を実施することはできなかったが、雨天時プログラムとして、西郷村で育てたカスミソウの染花体験とハーバリウムづくりを実施した。



【ハーバリウム】



【焼きマシュマロ】



【アウトドアクッキング】



【ふりかえり】

② 事業の成果と課題

<事業の成果>

- ・家族での交流やふれあいの機会、家族間の交流ができる仕掛けを用意して、様々な場面で積極的に交流をする姿を見ることができた。
- ・ボランティアスタッフが各班のリーダーとなり、参加者同士をつなげるパイプ役として活躍してくれた。また、キャンプファイヤーでのレクリエーションゲームをボランティアスタッフに考えて実施してもらうことで、ボランティア育成へとつながったように感じる。
- ・野外炊事の場面では、班ごとの活動を超えて、家族同士が協力し調理をする姿を多く見ることができた。

<事業の課題>

- ・本来予定していたじゃがいも堀りのプログラムが悪天候により実施が出来ず、参加者からも実施をしてほしかったとの声があった。
- ・雨天時プログラムとして、ハーバリウム作りを実施したが、本来実施を予定していた農業体験とは離れたプログラムになってしまったので、参加者からは特段不評があったわけではないが、つながりのあるプログラムを組む必要があると感じた。
- ・参加者定員が65名の所、実参加者数は44名と定員に達することが出来なかった。夏休み後の土日という事も原因の一つとして考えられるため、来年度は日程を組む際に考慮していきたい。

(事業推進係員 古谷 洋祐)